

令和元年度認定こども園さめ保育園

## 施設関係者評価員会議

日時

令和2年3月7日(土)～3月21日(土)

参加者

評価委員6名、園長、教頭、主幹保育教諭 計9名  
コロナウィルス感染症予防のため文書にて検討及び評価

議題

○認定こども園さめ保育園職員自己評価報告  
○令和元年度保護者アンケート結果報告  
○評価

### ○認定こども園さめ保育園職員自己評価報告

園の教育・保育の全体計画について園内研修を行っていたので、教育・保育理念や目標の理解、認定こども園としての社会的責任、職員としての心構えについては十分理解していたことが分かった。幼保連携型認定こども園教育・保育要領第1章・第2章について保育教諭は十分理解できているが、その他の職員は理解不足であった。各年齢のねらい及び内容・配慮事項の点においては担当園児以外の年齢の園児の発達理解に努めることが求められる。全年齢の発達理解ができるよう今後も研修研鑽を積むようにしなければならない。園の保健計画や食育計画は周知不足があり十分な理解がされていなかったため、職員皆で理解を深められるよう取り組むこととした。

### ○保護者アンケート結果報告

今年度のアンケート回収率は53家庭中49家庭提出92.4%となった。集計結果より毎日の食事の内容がよくわかる、子供の良いところや個性を認めている、いろいろな体験や遊びを通した遊びへの意欲や主体的な態度が育っていることが良い点としてあげられた。昨年度の課題点とされたアレルギーの説明不足は改善されてきたが、今年度の課題点として苦情窓口を知らない、要望や不満を言いにくい、対応していないという点があげられたので、プライバシー保護、相談しやすい雰囲気づくりに邁進していきたい。又、園行事の日程や場所等について変更の要望があったので、令和2年度は春の遠足は中止、発表会は広い園外施設を利用する等、見直し検討したい。

### ○評価委員より

保育の安全面、感染症や体調不良時の対応、感染症の情報提供等園児の健康管理がきちんと行われている。また支援を要する園児への配慮や医療、福祉等の関連機関との連携、行事や交流会等の地域住民への参画協力、各家庭のライフスタイルに対応した延長保育や一時預かり等もよく頑張っている。幼保連携型認定こども園教育・保育要領について個々の職員が理解し、自己研鑽による職員の質の向上が図られるようにするとさらに良いのではないかと。

認定こども園として求められることが多く、また世の中は保育士不足という状況が続いているので、大変なこともあると思うが、今後も頑張ってもらいたい。

